


「私たちの負い目をお赦し下さい」

マタイの福音書 6章9～13節

1



主の祈りから学ぶ6

私たちの負い目をお赦し下さい。私たちも私たちに負い目のある人たちを赦しました。

2

『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。
御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。
私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。私たちの負い目をお赦しください。私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦しました。私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。』[国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。]マタイ6:9-13

3

私たちには負い目がある

- 負い目＝「当然支払うべきもの」ロ-マ4:4 肋11:4 罪＝負い目
- これは弟子（クリスチャン）の祈り
- 「命は借り物」返さなければならぬ時がある
- 恵みの管理者 どのように管理したか報告する義務がある
- 借金を支払えませんか。赦してください。
- かっこ悪い祈り（弱さをさらけ出す、へりくだった祈り）

4

神が支払ってくださった

- 神がご自身の血をもって買い取られた神の教会使徒20:28
- 見よ。【主】の御手が短くて救えないのではない。あなたのその耳が遠くであんなにあなたを隠さず聞かされたようにしたのだ。イヤ59:1-2
- しかし、神が光の中におられるように、私たちが歩むべき道は、イエスの血です。私たちが罪を悔い改め、神に告白し、神は真実な方です。すべては神の恵みから私たちに与えられました。1ヨハネ1:7,9
- 光の中を歩む神との交わりを保つ。自分の罪を隠すことはできない。隠す必要もない。

5

神が支払ってくださった

- 神は、私たちの賛美の中に、従順の中に、へりくだりの中にいっしょに住まわれる。
- また、そして罪を告白し（認め）、赦しを求める人々と一緒に住まわれる。
- 罪には相手がいる。自分の罪悪感が問題なのではない。それは助けになる。
- 神のみこころに添った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。2コリント7:10
- 心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。マタイ5:3

6

神に赦された人は赦す

- 赦しは関係の回復 神が住んで下さるようになる。私たちは神といつも一緒に生きる。
- 神の愛の中で、赦しの中で、成長する。教会も成長し、神の愛の輪が広がる。神の愛の支配（国）が広がる。
- 赦され、赦すことによって、御国が広がる。御心がなされ、御名があがめられる。私たちは父なる神の子どもたちとして成長する。「平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。」
- この祈りは、私たちが赦す人に変えていく。

今週の課題

- 今週の暗唱聖句
- お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。Eph 4:32
- 自分の心の中の恨みや、自分の赦せない心について告白し（認め）ましょう。
- 赦すことができるように主の恵みを求めましょう。
- 自分的人际关系（平和、平安）のために、また世界の平和のために祈りましょう。